

山ぼうしは「立志の樹」といわれ、本校正門脇に植樹されていた。

花も実も 蒼天に立つ 山ぼうし

の碑（初代PTA会長 盛合聡の揮毫）がある。



山ぼうし - 友愛・協調・責任 -

2014年4月25日 NO.1

岩手県立宮古工業高等学校 校報

躍動の宮工ふたたび

校長 稲森 藤夫

昨年度は、本校にとりまして、創立40周年という節目の年であるとともに、震災復興に向けての更り多き一年となりました。保護者の皆様には多大なるご支援を賜り心より感謝申し上げます。今年度もまた躍動の一年となりますよう皆様のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

□転出・転入職員□

春は別れの季節、そして出会いの季節でもあります。宮古工業高校の教育に尽力いただきました11名の教職員がご勇退・ご栄転となりました。一方、県内各地から11名の教職員が着任しましたので紹介します。

■転出職員：名前（教科等・異動先）

- ・浅沼 孝夫先生（副校長・盛岡工高副校長）
- ・佐々木光男先生（建築設備科・盛岡工高副校長）
- ・鈴木 孝行先生（機械科・釜石商工高）
- ・今野 雅之先生（建築設備科・久慈工高）
- ・佐々木大祐先生（機械科・盛岡工高）
- ・菊池 崇先生（数学・盛岡南高）
- ・丹代 陽先生（理科・黒沢尻工高）
- ・佐藤 和代先生（家庭・退職）
- ・田村 憲介先生（保体・久慈東高）
- ・藤澤はづき先生（英語・退職）
- ・菊地 俊一先生（電気電子科・盛岡工高）

■転入職員：名前（教科等・前任校）

- ・八重樫大希先生（副校長・黒沢尻工高）
- ・佐々木和正先生（数学・宮古高）
- ・佐藤 亮子先生（英語・水沢農高）
- ・川村 和志先生（建築設備科・釜石商工高）
- ・藤原 徳久先生（機械科・盛岡工高）
- ・藤田 直樹先生（建築設備科・黒沢尻工高）
- ・山崎 満広先生（理科・盛岡第四高）
- ・佐藤 大地先生（保体・新採用（花泉高））
- ・清川 道弘先生（機械科・盛岡工高）
- ・相馬 慧子先生（家庭・久慈高長内校）
- ・松川元一郎先生（電気電子科・日本工学院）

書道は講師（宮水兼務）の中山雅志先生に、また、美術は非常勤講師の佐々木實先生、そして新採研連で非常勤講師の菅野和夫先生にご指導頂きます。

6年連続

進路達成率 100%(1月)

平成25年度の進路概況がまとまりました。生徒諸君・教職員の弛まざる努力が結実し、県内工業高校で最速の部類に入る、平成26年1月での進路達成率100%を成し遂げました。

平成25年度本校の進路状況は、次のとおりです。

■進学状況

宮古短大 1名、産技短水沢 1名、私立大学 2名、専修学校 6名、公共職業能力開発施設（宮古高等技術専門校） 2名 計 12名

■就職状況

宮古管内 37名
岩手県内 3名
岩手県外 13名（公務員含む） 計 53名
合計 65名

☆4月の主な行事☆

- 7 (月) 新任式・始業式
- 8 (火) 入学式（新入生87名）
- 9 (水) 新入生オリエンテーション・対面式等
- 21 (月) 第1回PTA理事会
- 22 (火) 第1回母親委員会
- 26 (土) PTA総会（携帯電話研修・学級懇談会）

☆5月の主な行事☆

- 1 (木) 携帯電話講習会
- 8 (木) 頭髪服装検査
- 13 (火) 高P連沿岸ブロック協議会
- 20 (火) 高総体開会式
- 23 (金) 開校記念日

被災球場の復旧支援

岩手のアオダモを育てる会（原修代表）とともに、被災した宮古工業高校の野球グラウンド復旧を支援する、オーストラリア・ブリスバンのデインゴ・インターナショナル・ベースボール基金のデビッド・ニルソン代表（44）は3月31日、盛岡市の県庁を訪れ、達増知事と懇談しました。

ニルソンさんに同行したのは、盛岡出身でオーストラリア在住の同会顧問丸山傳さん（63）ら8人でした。かつてプロ野球中日でも活躍したニルソンさんは、「野球を通じて良い関係を築きたい。」

今後、毎年訪問して野球場修復を手伝い続ける」とあいさつしました。これに対し達増知事は、「被災した子どもが好きな野球を続けられることに感謝する」と応えました。ニルソンさんらは本校訪問のため来日し、ブルペンとダッグアウトの整備を予定しており、来る6月25日（水）には、野球チームを帯同し、本校を再訪問する予定です。

交流内容等については、これから調整することになっています。

なお、丸山傳（デニー丸山）さんによると、セリグMLBコミッショナーにも今回の訪問を報告する予定だそうです。



【図1】記念の帽子、目録、ブーメラン
宮古・下閉伊ものづくり産業啓発DVD完成!!

いわて三陸の若者（主に小・中学生対象）に、ものづくり産業の真の力と未来を魅せることを目的に、**産**（エフビー・菊池電子・エムアイティ等）、**学**（高技専、宮古工業高校）、**官**（宮古地域振興センター）、**民**（IBC岩手放送）が連携し制作にあっていたDVDがこの度完成しました。

「未来への挑戦！ リアスのフロンティア」というタイトルで、①暮らしを変えるミクロの改革、②一億分の0に挑む、③あくなき挑戦、④女性の活躍、⑤たゆまぬ向上心、という5つの章で構成されています。本校卒業生も5名登場しており、企業の重要なポストを占め、世界レベルにある宮



古・下閉伊地区のモノづくりに多大な貢献をしていることが分かります。また、本校での取材シーンについては、IBCが特番を組み放送予定です。

放送日時は、平成26年5月6日（祝）10時50分と決まりました（25分間）。是非御覧ください。

津波模型班 徳島県教委からの依頼

徳島県教委から岩手県教委に対し、本校「津波模型班」による出前授業の依頼がありました。南海トラフ巨大地震を想定した津波シミュレーション及び防災意識の高揚を目的としたものです。津波模型班はこの機会を利用し、四国4県及び関西方面での実演会を計画しており、各種奨励金を旅費の一部に充てる予定です。また、宮古市内の建築協会等からも支援の申し出があります。



【図3】津波模型班によるシミュレーション
金沢北陵高校との交流（2年目）

「東日本大震災で被災し困難に遭遇した宮古工業高校の生徒から地域貢献を学び、金沢北陵高校の新たな伝統づくりの契機にしたい」という同校同窓会長の強い思いから実現しました。経費については金沢北陵高校がそのほとんどを負担するという約束で平成25年度から5年間に渡って行われる事業です。昨年度は本校が金沢を訪れました。被災当時のパネルを用い、復旧・復興・ボランティア活動等をテーマにした①生徒間交流、硬式野球部による②記念交流試合、北陵高校創立50周年及び両校の交流事業を記念した③太鼓部の演奏、④校長講演、北陸放送による⑤記念DVDの制作、そして、古都金沢の⑥味覚と観光を堪能することができたすばらしい第一回目の交流会でした。今年度は金沢北陵高校を本校がお迎えする番です。期日は10月17日（金）となりました。保護者の皆様にもご協力を依頼することがあるかもしれません。その際はよろしくお願いたします。